

長崎県におけるフタトゲチマダニ *Haemaphysalis longicornis* の人体寄生例

前田 恵子¹⁾ 岸川 博紀²⁾ 立花 保行³⁾ 山口 昇⁴⁾

要 旨 長崎市内に在住している67歳の女性の左下腿にダニが寄生した。このダニを切除した結果本種はフタトゲチマダニ *Haemaphysalis longicornis* の雌であることがわかった。切除後4~5日で創傷治癒した。

長大医短紀要 1: 135-137, 1987

Key Words : *Haemaphysalis longicornis*, フタトゲチマダニ, 人体刺咬

ウシ, ウマ, イヌなどに比較的大きなダニが寄生している。これらはマダニ類とよばれるグループのダニで, ときどきヒトにも寄生する。長崎県でもマダニのヒトの咬着例(4例)が報告されている。そのうち3例はフタトゲチマダニである^{1), 2), 3)}。最近カモシカマダニの寄生例も報告されている³⁾。1987年夏にフタトゲチマダニがヒトに咬着した症例を経験したので報告する。

症 例

患者: 67歳, 主婦, 長崎市在住。昭和60年5月14日長崎市内のA病院で直腸癌のため開腹してS状結腸の人工肛門を造設した。その後順調に回復し2週間に1回の定期検診のためA病院に来院している。昭和62年7月15日に検診に来た際, 1週間ほど前から左下腿にイボのようなものがあり, 局部に軽い痛みを感じ, またその周囲にできていた発赤が次第に赤くなったので, 患者からこれを

切除して欲しいとの依頼があった。そこでキシロカインで局部麻酔してメスを用いて皮ふよりイボ状のものを切除したところイボ状の物体が動き出した。よくみた結果マダニであることがわかった。

ダニ咬着部周囲の皮膚には発赤がみられた。ダニ切除後も1~2日間発赤は続いた。切除後清拭創傷処置したところ, 4~5日で創傷治癒した。5月20日から8月21日まで白血球数と好酸球の増減をしらべたが, 特に変わったことはなかった(表1)。なお患者は犬を飼っている。

表1 白血球数と好酸球の変化

調 査 月 日	5月20日	6月11日	7月15日	8月5日	8月21日
白血球数	3600	3200	2800	3900	3600
好酸球(%)	3	9	11	11	5

1) 看護学科: 長崎大学医療技術短期大学部, 2) 外科: 光晴会病院, 3) 臨床病理科: 三原台病院
4) 寄生虫学教室: 埼玉医科大学

切除されたダニ：このダニは約6 mm 位で褐色であって、十分に吸血しており、飽血に近い状態であった。口下片は図1と2からわかるようにすでに切りとられていた。本報の著者の1人、山口がこれをフタトゲチマダニ *Haemaphysalis longicornis* の雌と同定した。



図1. 口器を切りとられたフタトゲチマダニの雌



図2. 図1に示したダニの腹面

考 察

このダニは飽血近くの状態にあった。この状態からみて刺咬を受けたのはおそらく来院時より1週間ほどまえであると考えられる。

フタトゲチマダニにはチマダニ属 (Genus *Haemaphysalis*) に属し、その形態的特徴の

一つは口下片が比較的短かく、かつ口下片上の歯も小さい。口下片は吸血中に、宿主皮膚への咬着を確保する固定器の働きをもっており、これが小さいことは宿主への咬着力が弱いことを意味する、このため通常、指先を用いても除去可能であり、除去によって宿主皮膚内に口下片を切断、残存せしめることはない⁴⁾。イヌなど体毛の多い哺乳類に比べると著るしく体毛の少ない人体にあっては、皮膚の接触や衣類との摩擦によって、吸血中のチマダニ属は気付かぬ間に除去されることが多いと思われる。人体咬着マダニ類の中で、マダニ属に比べてチマダニ属が少ない⁴⁾理由の一つに以上のことがら関係すると思われる。本例で、口下片および触肢が虫体から欠損していたが、その断面から、皮膚からの除去時にメスで切断されたものと想像される。

本症例でのフタトゲチマダニは、わが国では牛のピロプラズマ症や犬のバベシア症を媒介する重要な家畜害虫の一つであることが知られている。ユーゴスラビア、アイルランド、北米などから報告された人体バベシア症が、人獣共通感染症として注目されている現在、本種による人体刺症は軽視すべきでない³⁾と考える。マダニ類による感染症媒介性がすべて解明されつくされたといえない現状を考えると、今後も刺咬種の正確な同定と、患者の病態に十分注意を払う必要がある。

文 献

- 1: 山口 昇・鈴木 博: マダニ類による人体刺咬の珍しい数例, 衛生動物, 32: 171, 1981.
- 2: 山口 昇・高田伸弘: マダニによる人体刺咬3例, 衛生動物, 32: 86-89, 1981.
- 3: 前田恵子・浦野善一郎・山口 昇: ヒトに寄生したカモシカマダニ *Ixodes acutitarsus*. Karsch, 1880, 長崎県生物学会誌, 31: 5-7, 1986.
- 4: 佐々 学・緒方一喜・石井 明・田中 寛・

長崎県におけるフタトゲチマダニ *Haemaphysalis longicornis* の人体寄生例

高田季久・鈴木 守・大友弘士・谷 莊
吉・多田 功・荒木恒治・藤田紘一郎・
澁谷敏明・栗原 毅・山口 昇：標準医

動物学, 医学書院, 東京, 1986, pp. 168-
169.

(1987年12月28日受理)